

理事会 議事録（抄本）

日 時 令和 6 年 7 月 18 日（木）14：55～16：30
場 所 第一会議室（短期大学 1 号館 1 階）
出席理事 内田信子、今村正治、永田彰浩、下古場泉、
日野和仁、荒牧軍治、溝上泰弘
出席監事 御厨一紀
欠席理事 納富博文
欠席監事 伊藤正
その他の出席 大津信輔、寺田浩一、犬伏直人
記 録 久保政直

議 案

第 1 号議案	令和 6 年度一次補正予算について	資料 1 (評議員会資料 2)
第 2 号議案	評議員の選任について	資料 2 (評議員会資料 2)
第 3 号議案	令和 7 年度入学定員の削減に伴う学則変更について	資料 3
第 4 号議案	役員損害賠償保険契約について	資料 4

報告事項

議事の経過および結果

議長席に内田信子理事長がつき（寄附行為 第 14 条第 7 項）、理事会の成立要件（寄附行為第 14 条第 10 項）の確認後、各議案につき、内田信子理事長より各関係者への説明要請があり、議事に入った。

【 第 1 号議案 】 令和 5 年度一次補正予算について

省 略

【 第 2 号議案 】 評議員の選任について

省 略

【 第 3 号議案 】 令和 7 年度入学定員の削減に伴う学則変更について

今村理事（短期大学学長）より、令和 7 年度より、地域みらい学科及びこども未来学科の入学定員及び収容定員の変更並びに地域みらい学科グローバル共生 IT コースを情

報デザイン・コミュニケーションコースに名称変更したいとの提案がなされ、審議の結果、原案どおり議決された。

学生定員（学科）

新(令和 7 年度)		
学 科	入学定員	収容定員
地域みらい学科	<u>100名</u>	<u>200名</u>
こども未来学科	<u>70名</u>	<u>140名</u>
計	<u>170名</u>	<u>340名</u>

旧（令和 6 年度）		
学 科	入学定員	収容定員
地域みらい学科	110名	220名
こども未来学科	80名	160名
計	190名	380名

学生定員（コース）

新(令和 7 年度)			
学科	コース	入学定員	収容定員
地域みらい学科	福祉とソーシャルケアコース	40名	80名
地域みらい学科	韓国語文化コース	<u>60名</u>	<u>120名</u>
地域みらい学科	情報デザイン・コミュニケーションコース		
地域みらい学科	司書アーカイブズコース		
こども未来学科	こども保育コース	<u>70名</u>	<u>140名</u>
こども未来学科	こども教育コース		
こども未来学科	こども養護コース		
計		<u>170名</u>	<u>340名</u>

旧（令和 6 年度）			
学科	コース	入学定員	収容定員
地域みらい学科	福祉とソーシャルケアコース	40名	80名
地域みらい学科	韓国語文化コース	70名	140名
地域みらい学科	グローバル共生ITコース		
地域みらい学科	司書アーカイブズコース		
こども未来学科	こども保育コース	80名	160名
こども未来学科	こども教育コース		
こども未来学科	こども養護コース		
計		190名	380名

【 第 4 号議案 】 役員賠償責任保険契約について

省 略

報告事項

省 略

内田信子理事長より、議事終了の旨が告げられ、16時30分終了した。上記審議事項を明確にするために議事録を作成し、出席者全員捺印する。

令和6年7月18日

議長（理事長）	内 田 信 子
1号理事	今 村 正 治
2号理事	永 田 彰 浩
3号理事	溝 上 泰 弘
3号理事	下 古 場 泉
4号理事	日 野 和 仁
4号理事	荒 牧 軍 治
監 事	御 厨 一 紀

この抄本は原本と相違ありません

令和6年7月23日

学校法人 旭学園

理事長 内 田 信 子

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア) 学則変更（収用定員変更）の内容

佐賀女子短期大学学則第 3 条に定める学科等の入学定員及び収用定員を以下の通り減じる。

学科	現行		令和 7 年 4 月 1 日	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
地域みらい学科	110	220	100	200
こども未来学科	80	160	70	140
計	190	380	170	340

イ) 学則変更（収容定員変更）の必要性

高等教育修学支援制度は、進学する学生とその家庭の経済的な負担を軽減する上では、画期的な制度と認識している。この制度に参加する為には、一定の基準を満たす事が必要であり、それらは機関要件と呼ばれている。機関要件の中でも特に定員充足率は 2024 年度から厳格化され、他の要件と独立して直近 3 年間の収容定員充足率が 8 割未満の場合、原則として支援の対象から外れることとなった。

本学は今年度、定員充足率において 80%を下回っており、この傾向が今後 2 年間継続すると、支援対象から外れる。本学に在籍する支援対象者は、ここ数年おおよそ二十数%を占めており、本学が支援の対象から外れ、これらの学生が入学なくなると財政的に学校の運営は困難になると考えられる。今回は定員を確保することを最優先に考え、2 つの学科において定員をそれぞれ 10 名ずつ減じ、入学定員を短期大学全体で 170 名とする。

こども未来学科の直近の定員変更では平成 31 年に学科定員を 100 名から 80 名に減じている。当時は入学者減の主要な原因として、18 歳人口の減少、若者の都市部への志向、近隣の 4 年制大学での保育士養成の増加などを想定していたが、今日これらの状況が一層著明となると同時に、こども未来学科への入学層である教員や保育士等の志望者が急速に減少する傾向が見られている。近隣の保育士・幼稚園教諭を養成する短期大学においても、入学者を大きく減らしているところが多く、志望者の減少が本学に限らず広範囲にわたり生じている事から、今回の 10 名の定員減を決めた次第である。こども未来学科では、令和 4 年度より従来の幼稚園教諭、小学校教諭、保育士の免許・資格に加えて、養護教諭免許の課程認定を受け、取得できる免許・資格の幅を広げ、魅力向上を試みた。その結果、令和 4 年からの 2 年間は定員を満たすことが出来たが、その後は再び定員割れの状態となっている。今後は 2 年という限られた修業年限の中で、地域のニーズに応じたより実践力を身につけた学生の養成に注力していきたい。

地域みらい学科での直近の定員変更は令和 4 年に栄養士養成課程の募集停止をおこなった際に、学科定員を 130 名から 110 名に減じている。20 名減の内訳として、栄養士養成分野を 30 名減じ、司書養成の分野を「司書アーカイブズコース」として独立させ、そこで

新たに 10 名の定員を設定している。こうした定員変更を伴う学科組織の改編の結果、それまで司書を志望する学生は「グローバル共生 IT コース」に所属していた為、このコースに入学する学生が一定の割合で減少することとなった。また、海外への留学を目的とした教育課程を持つ「グローバル共生 IT コース」や「韓国語文化コース」への入学者は、令和 2 年頃より世界中に広がったコロナ禍の影響もあって減少が続き、このような理由から地域みらい学科全体でも定員割れの状態が常態化している。今回はこうした状況を改善すべく、地域みらい学科の「韓国語文化コース」、「情報デザイン・コミュニケーションコース」、「司書アーカイブズコース」の 3 コース合計 70 名の定員を 60 名に変更する。今回のコロナ禍のような地球規模の災害を経験しても、現代の社会がグローバルな人材を求めていることには変わりはない。特に人口減少の地方にあっては、労働力の確保は至上命題であり、共生社会の実現は必達の課題とも言える。変更となった暁には、グローバル分野のコース群を中心に、今後とも全学を上げて多様な文化を受け入れ、共生できる人材養成を目指していくと共に、共生の意識を持った留学生受け入れも推進していきたい。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容について

各学科のもとに設けられたコースの構成には変更はないため、教育課程に関しては収容定員変更に伴う大きな変更はおこなわない。但し、今回の収容定員の変更と並行して、これまで地域みらい学科の中に配置していた「グローバル共生 IT コース」を「情報デザイン・コミュニケーションコース」と名称を変更する。その際に、従来ここで展開してきた国際関係、異文化理解、IT デザイン関連の科目群に関しては、いくつかの科目を新規に追加する措置をおこなう。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容について

授業実施の際のクラス編成や科目別の必修・選択の種別に関しても従来通りとしており、教育方法及び履修指導の方法に関する変更はおこなわない。

（ウ）教員組織の変更内容について

教員組織に関しては、短期大学設置基準や教員免許及び保育士、介護福祉士養成に係る法令等に定められた基準以上の専任教員を配置しており、今回の収容定員の変更に伴う組織の変更はおこなわない。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容について

今回の収容定員変更に伴った施設設備の変更はおこなわない。令和 8 年度には耐震化に伴う施設設備の変更が予定されているが、法令に則り必要な面積及び設備の配置は続けていく。

学生確保の見通し等を記載した書類

－ 目 次 －

(1) 収容定員を変更する組織の概要	1
①収容定員を変更する組織の概要	1
②収容定員を変更する組織の特色	1
(2) 人材需要の社会的な動向等	3
①収容定員を変更する組織で養成する人材の動向分析	3
②中長期的な 18 歳人口等対象人口の動向分析	4
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	11
④既設組織の定員充足の状況	13
⑤人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	15
(3) 学生確保の見通し	17
①収容定員を変更する組織の現状	17
②収容定員を変更する組織の学生募集の取組	19
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	24

学生確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

① 収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

(現行)

学科	学内上の定員		学則上の定員	
	コース	コース定員	入学定員	収容定員
地域みらい	福祉とソーシャルケア	40	110	220
	韓国語文化	40		
	グローバル共生IT	15		
	司書アーカイブズ	15		
こども未来	こども教育	20	80	160
	こども保育	30		
	こども養護	30		
合計		190	190	380

所在地：佐賀市本庄町大字本庄 1313 番地

(変更)令和7年4月1日

学科	学内上の定員		学則上の定員	
	コース	コース定員	入学定員	収容定員
地域みらい	福祉とソーシャルケア	40	100	200
	韓国語文化	30		
	(名称変更) 情報デザイン・コミュニケーション	20		
	司書アーカイブズ	10		
こども未来	こども教育	15	70	140
	こども保育	25		
	こども養護	30		
合計		170	170	340

所在地：佐賀市本庄町大字本庄 1313 番地

② 収容定員を変更する組織の特色

○地域みらい学科

4つのコース「福祉とソーシャルケアコース」「韓国語文化コース」「グローバル共生ITコース（令和7年度名称変更：情報デザイン・コミュニケーションコース）」「司書アーカイブズコース」を置き、《表1》各免許資格に裏付けられた専門分野（福祉、韓国語、情報、ビジネス、国際、司書等）で活躍できる職業人を育成する学科である。

○こども未来学科

3つのコース「こども教育コース」「こども保育コース」「こども養護コース」を置

き、《表1》各免許資格に裏付けられた専門分野（小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、養護教諭）で活躍できる職業人を育成する学科である。

《表1》取得可能な免許・資格（募集要項 2025 年度より）

学科	コース	取得可能な免許資格
地域みらい	福祉とソーシャルケア	介護福祉士（受験資格） 医療的ケア基本研修修了 社会福祉主事任用資格 福祉美容ヘルパー（本学認定）
	韓国語文化	韓国語能力検定(TOPIK I・II)（検定試験） ITパスポート試験（検定試験） ハングル能力検定（検定試験）
	(名称変更) 情報デザイン・ コミュニケーション	TOEIC 700 点以上（検定試験） ITパスポート試験（検定試験） Microsoft Office Specialist（検定試験） Adobe 認定プロフェッショナル(検定試験)
	司書アーカイブズ	司書 学校司書（モデルカリキュラム） ITパスポート試験（検定試験） Microsoft Office Specialist（検定試験）
こども未来	こども教育	小学校教諭二種 幼稚園教諭二種 保育士 社会福祉主事任用資格 子ども発達支援士（基礎）（大学コンソーシアム佐賀認定） ピアヘルパー（受験資格）
	こども保育	幼稚園教諭二種 保育士 社会福祉主事任用資格 認定絵本土 子ども発達支援士（基礎）（大学コンソーシアム佐賀認定） 子育て支援士（本学認定） 保育表現技術認定資格（本学認定）
	こども養護	養護教諭二種 幼稚園教諭二種 保育士 社会福祉主事任用資格 子ども発達支援士（基礎）（大学コンソーシアム佐賀認定） ピアヘルパー（受験資格）

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を変更する組織で養成する人材の動向分析

○地域みらい学科 福祉とソーシャルケアコース

介護福祉士養成課程《表1》のコースであり、全国的に介護福祉士養成校は定員を下回っている状況に加え、募集停止を行う養成校も増えてきている。超高齢社会での介護福祉士のニーズは留まるところがなく、国は介護職員処遇改善加算等で待遇改善を図っているが、慢性的な人手不足を補うことはできてない。特に日本人学生の減少は改善される様子が見られない。この低迷により、佐賀県は委託訓練生制度を発足させ、当制度を利用した社会人入学者の学費を全学負担する画期的試みを行っているが、本学の入学者は例年0~2名で推移している。反して、外国人留学生は増加しており、今では入学者を外国人留学生に頼らざるを得ないところである。令和7年度からは、国内の日本語学校だけでなく、直接外国からの入学者を更に増やすために、仲介のエージェントを1社から2社に増やし、今以上に外国人留学生強化計画を立てており、コース定員の充足が見込めると考える。

○地域みらい学科 韓国語文化コース

短期大学として全国初の韓国の大学とのダブルディグリープログラムを導入し、平成29年に全国で8番目となる日本における韓国文化研究の拠点地となる韓国文化研究センターを設置するなど、韓国教育では九州の他の短期大学にない特色を持っている。95%の入学者が韓国留学を希望しており、《表1》最難関の韓国語検定(TOPIK 6級)を在学中に取得する学生も多く、2年間で高度な語学力を身に付けることができるメリットから令和6年度は31名が入学してきた。K-POP人気の影響も大きく、政治的状況に左右されず、今後も継続的に同数程度の入学者が見込まれると考える。

○地域みらい学科 グローバル共生IT

(令和7年度名称変更：情報デザイン・コミュニケーションコース)

多文化理解、英語を中心とした外国語学習、ICTに関する技術や情報、グラフィック、WEBデザイン分野など多岐に渡る専門を学び、《表1》デジタル人材として実践力と専門技術を身に付けた資格を基にした就職を売りとしている。ただし、入学者が数名という厳しい結果が続いていることから、令和7年度より、対人コミュニケーションの重要性を基礎として学び、介護福祉士と同様に外国人留学生をエージェントに委託することで、低迷を脱却し、入学者が見込まれると考える。

○地域みらい学科 司書アーカイブズコース

図書館司書として働くための《表1》司書資格取得に加え、アーカイブズ技術も修得することができる。司書自体の就職は嘱託職員としての採用がほとんどであるが、企業就職でも対応できるべく、重要な文書を保存するためにアーカイブズ技術を学び、近年、地方自治体、企業、および大学で、アーカイブズ設置が進んでいることを鑑み、今後需要が見込まれる分野と考えている。アーカイブズという言葉自体が高校生にとっては耳慣れない言葉であるが、アーカイブズの認知度の高まりに比例して入学者が増加しており、入学者が見込まれると考える。

○こども未来学科 こども教育コース・こども保育コース・こども養護コース

エッセンシャルワーカーとして、《表1》保育士を中心に、各コースで、小学校教諭、幼稚園教諭、養護教諭を組み合わせた免許資格を取得し、乳幼児から高等学校まで幅広く「こども」に関わる職業に就くための養成課程である。全国的に教員採用試験の倍率の低下が問題視されているように、前段階の教員養成課程の学生である、小学校教諭養成の「こども教育コース」、養護教諭養成の「こども養護コース」の入学者は減少している。また、保育士養成についても全国的に令和6年度入試は、各短期大学の入学者が減少するという結果になったことから、単に四年制大学への進学率の増加や、近隣の九州第一の都市である福岡県への流出が要因とは考えられず、全国的な保育士人気の低迷であった。本学のトリプルライセンスである「こども教育コース」（小学校教諭＋幼稚園教諭＋保育士）、「こども養護コース」（養護教諭＋幼稚園教諭＋保育士）は他の短期大学でも稀有であり、九州の短期大学で僅か、小学校教諭養成5校、養護教諭養成3校というメリットをPRすることで、「こども未来学科」全体の入学者の減少に歯止めをかけることで、入学者が見込まれると考える。

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の動向分析

現実的な数字として令和5年度の佐賀県の3短期大学の入学者は355名であり、福岡県の短期大学入学者2,561名より約2,200名少なく、《表2》佐賀県内の高等学校から199名、他県の高等学校から87名、外国人留学生および高等学校卒業程度認定試験合格者から69名という状況である。この5年間では、平成30年度の3短期大学の入学者数の386人から31名の減少、佐賀県内の高等学校からは268名から69名の減少と、佐賀県内の高等学校からの進学者が大幅に減っている。全国的な動向からも、《表3》《表4》全国および佐賀県の18歳人口の減少は近隣の福岡県と比して大きな差があり、短期大学進学率の低下など厳しい状況と考えられるが、令

和7年度においては20名減の170名定員の確保を見込んでいる。

《表2》佐賀県の3短期大学の5年間の入学者数の推移

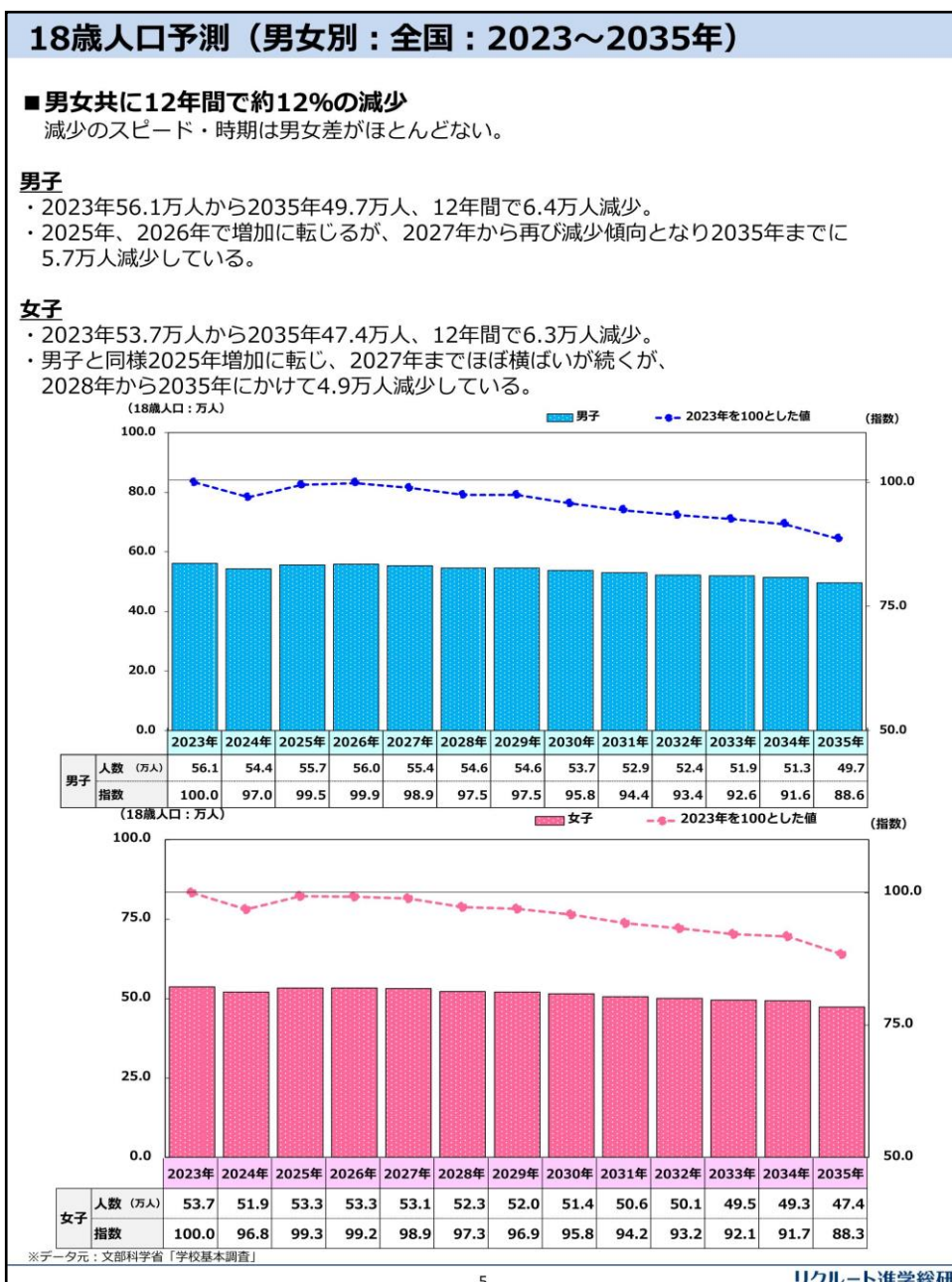
年度	佐賀県内の高校	他県の高校	外国人留学生 および高卒認定	計
平成30年度	268	91	27	386
令和5年度	199	87	69	355
増減	-69	-4	+42	-31

《表3》18歳人口予測 1

出典：学校基本調査－令和5年度 結果の概要－

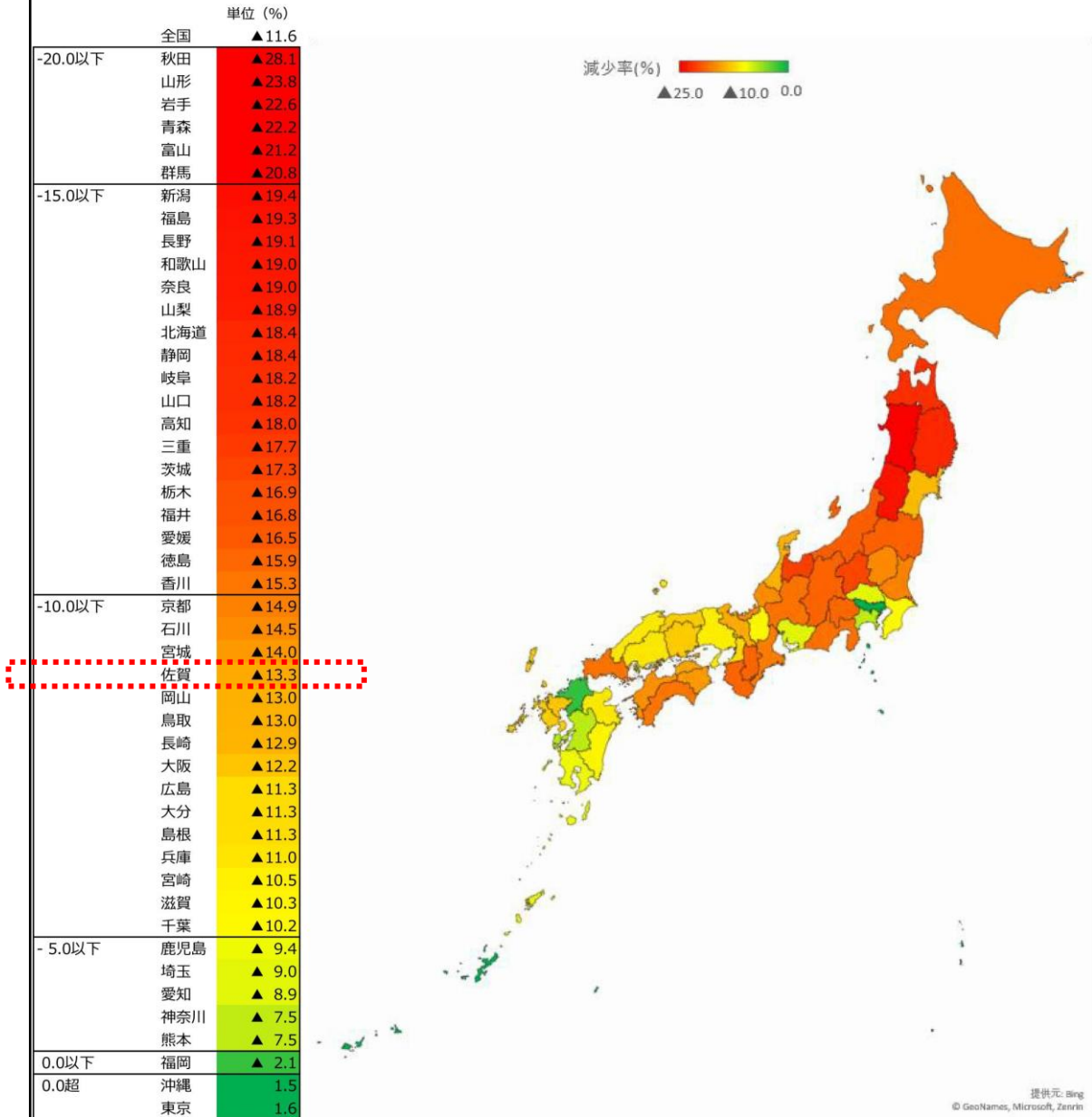
出典：株式会社リクルート リクルート進学総研 マーケットリポート 2023

全国版「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向



18歳人口予測（全体：都道府県別：2023→2035年）

■東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
東京・沖縄の2都県のみ増加する見込み



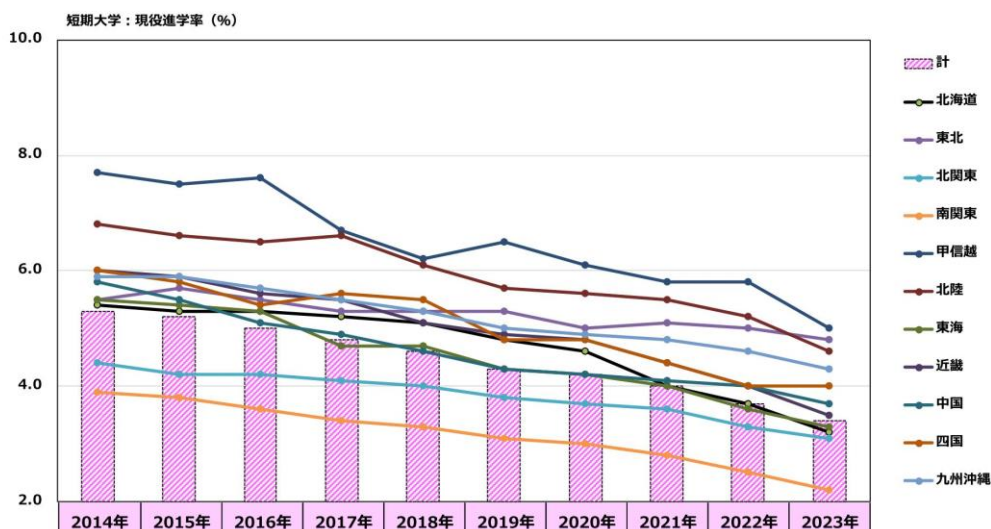
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

短期大学進学率の推移（現役：エリア別：2014～2023年）

■ 2014年5.3%→2023年3.4%（1.9ポイント低下）

- ・全体の短期大学進学率は2014年5.3%→2023年3.4%と、10年間で1.9ポイント低下。
- ・低下が大きいのは、1位 南関東（56.4）、2位 近畿（58.3）、3位 北海道（59.3）。※注
- ・低下が小さいのは、1位 東北（87.3）、2位 九州沖縄（72.9）、3位 北関東（70.5）。※注
- ・2023年進学率が高いのは、1位 甲信越（5.0%）、2位 東北（4.8%）、3位 北陸（4.6%）。

※注（）内は指数=2014年を100として算出



		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
計	進学率	5.3	5.2	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.0	3.7	3.4
	指数	100.0	98.1	94.3	90.6	86.8	81.1	79.2	75.5	69.8	64.2
北海道	進学率	5.4	5.3	5.3	5.2	5.1	4.8	4.6	4.0	3.7	3.2
	指数	100.0	98.1	98.1	96.3	94.4	88.9	85.2	74.1	68.5	59.3
東北	進学率	5.5	5.7	5.5	5.3	5.3	5.3	5.0	5.1	5.0	4.8
	指数	100.0	103.6	100.0	96.4	96.4	96.4	90.9	92.7	90.9	87.3
北関東	進学率	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.6	3.3	3.1
	指数	100.0	95.5	95.5	93.2	90.9	86.4	84.1	81.8	75.0	70.5
南関東	進学率	3.9	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1	3.0	2.8	2.5	2.2
	指数	100.0	97.4	92.3	87.2	84.6	79.5	76.9	71.8	64.1	56.4
甲信越	進学率	7.7	7.5	7.6	6.7	6.2	6.5	6.1	5.8	5.8	5.0
	指数	100.0	97.4	98.7	87.0	80.5	84.4	79.2	75.3	75.3	64.9
北陸	進学率	6.8	6.6	6.5	6.6	6.1	5.7	5.6	5.5	5.2	4.6
	指数	100.0	97.1	95.6	97.1	89.7	83.8	82.4	80.9	76.5	67.6
東海	進学率	5.5	5.4	5.3	4.7	4.7	4.3	4.2	4.0	3.6	3.3
	指数	100.0	98.2	96.4	85.5	85.5	78.2	76.4	72.7	65.5	60.0
近畿	進学率	6.0	5.9	5.6	5.5	5.1	4.9	4.8	4.4	4.0	3.5
	指数	100.0	98.3	93.3	91.7	85.0	81.7	80.0	73.3	66.7	58.3
中国	進学率	5.8	5.5	5.1	4.9	4.6	4.3	4.2	4.1	4.0	3.7
	指数	100.0	94.8	87.9	84.5	79.3	74.1	72.4	70.7	69.0	63.8
四国	進学率	6.0	5.8	5.4	5.6	5.5	4.8	4.8	4.4	4.0	4.0
	指数	100.0	96.7	90.0	93.3	91.7	80.0	80.0	73.3	66.7	66.7
九州沖縄	進学率	5.9	5.9	5.7	5.5	5.3	5.0	4.9	4.8	4.6	4.3
	指数	100.0	100.0	96.6	93.2	89.8	84.7	83.1	81.4	78.0	72.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

《表4》18歳人口予測 2

出典：学校基本調査－令和5年度 結果の概要－

出典：株式会社教育企画センター 都道府県別18歳人口予測推移

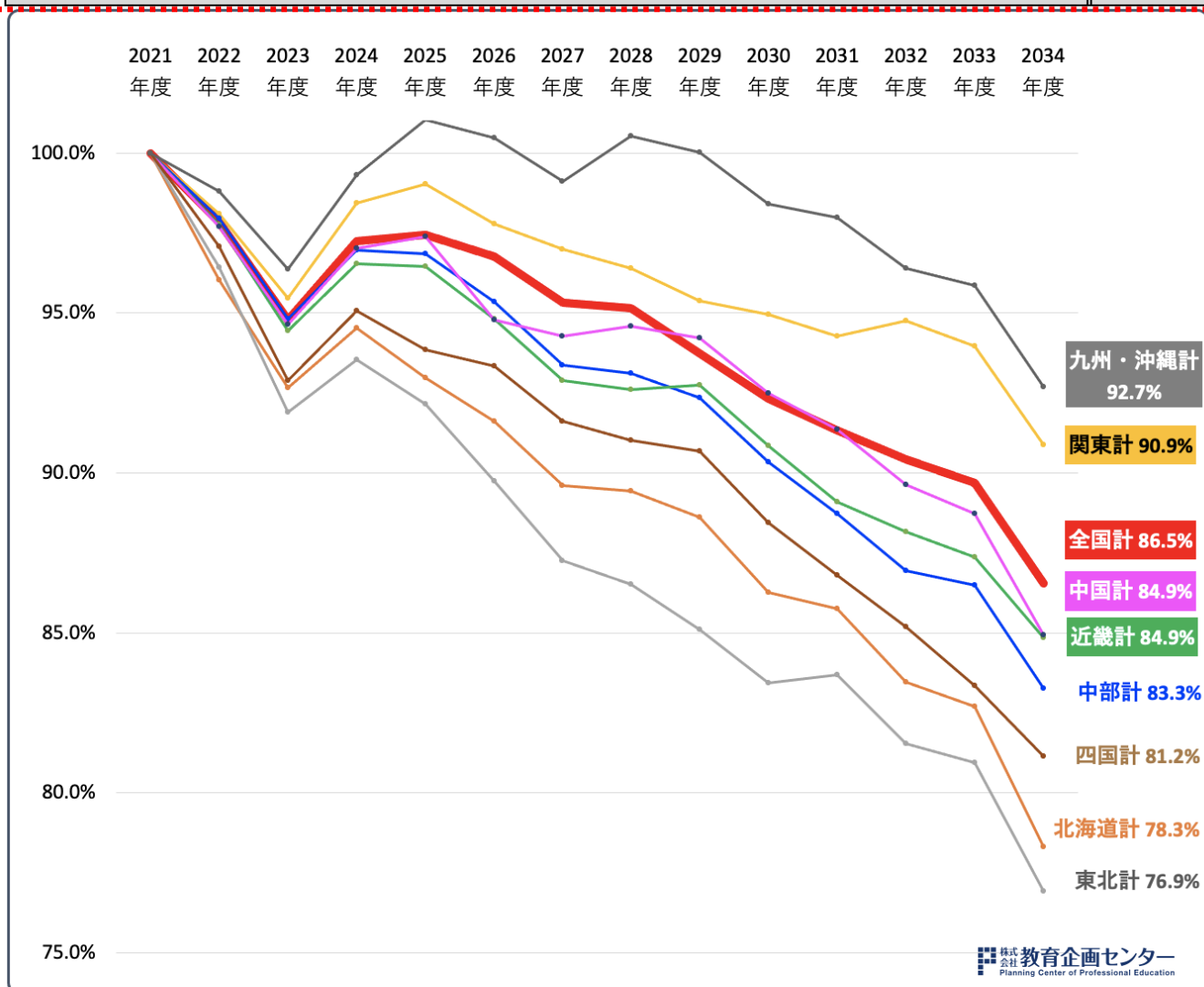
文部科学省2023「学校基本調査」に見る募集ターゲットの地域別減少予測

地域別18歳人口予測値推移

赤字文字：全国計より3%以上低い

※2021年を100%とし、以降の増減を%で表示しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2033-2020年度減少率
全国計	100.0%	97.8%	94.8%	97.3%	97.4%	96.8%	95.3%	95.1%	93.7%	92.3%	91.3%	90.4%	89.7%	86.5%	-13.5%
北海道計	100.0%	96.0%	92.7%	94.5%	93.0%	91.6%	89.6%	89.4%	88.6%	86.3%	85.8%	83.5%	82.7%	78.3%	-21.7%
東北計	100.0%	96.4%	91.9%	93.5%	92.2%	89.7%	87.3%	86.5%	85.1%	83.4%	83.7%	81.5%	80.9%	76.9%	-23.1%
関東計	100.0%	98.1%	95.5%	98.4%	99.0%	97.8%	97.0%	96.4%	95.4%	95.0%	94.3%	94.8%	94.0%	90.9%	-9.1%
中部計	100.0%	98.0%	94.8%	97.0%	96.9%	95.3%	93.4%	93.1%	92.4%	90.3%	88.7%	86.9%	86.5%	83.3%	-16.7%
近畿計	100.0%	97.8%	94.4%	96.5%	96.5%	94.8%	92.9%	92.6%	92.8%	90.9%	89.1%	88.2%	87.4%	84.9%	-15.1%
中国計	100.0%	97.7%	94.7%	97.0%	97.4%	94.8%	94.3%	94.6%	94.2%	92.5%	91.4%	89.6%	88.7%	84.9%	-15.1%
四国計	100.0%	97.1%	92.9%	95.1%	93.8%	93.3%	91.6%	91.0%	90.7%	88.4%	86.8%	85.2%	83.3%	81.2%	-18.8%
九州・沖縄計	100.0%	98.8%	96.4%	99.3%	101.0%	100.5%	99.1%	100.5%	100.0%	98.4%	98.0%	96.4%	95.9%	92.7%	-7.3%



令和4年度および過去の学校基本調査より算出・加工 / 高校3年生相当年齢の年度を18歳人口年度と設定

© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

都道府県別18歳人口予測値推移

赤字：全国計より3%以上低い

※2021年を100%とし、以降の増減を%で表示しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2033-2020年度減少率
全国計	100.0%	97.8%	94.8%	97.3%	97.4%	96.8%	95.3%	95.1%	93.7%	92.3%	91.3%	90.4%	89.7%	86.5%	-13.5%
北海道	100.0%	96.0%	92.7%	94.5%	93.0%	91.6%	89.6%	89.4%	88.6%	86.3%	85.8%	83.5%	82.7%	78.3%	-21.7%
北海道計	100.0%	96.0%	92.7%	94.5%	93.0%	91.6%	89.6%	89.4%	88.6%	86.3%	85.8%	83.5%	82.7%	78.3%	-21.7%
青森	100.0%	95.7%	89.5%	90.6%	88.1%	87.0%	82.7%	84.0%	81.9%	78.6%	78.3%	76.7%	76.2%	74.4%	-25.6%
岩手	100.0%	95.9%	90.5%	93.3%	90.6%	88.9%	86.9%	85.6%	84.0%	82.5%	81.9%	79.0%	77.5%	74.2%	-25.8%
宮城	100.0%	96.0%	92.6%	95.2%	96.3%	93.9%	91.9%	91.3%	89.9%	91.4%	89.7%	87.2%	87.7%	82.5%	-17.5%
秋田	100.0%	98.4%	93.7%	95.3%	92.4%	89.7%	87.9%	84.4%	83.8%	80.5%	78.0%	76.3%	74.9%	70.9%	-29.1%
山形	100.0%	98.0%	92.9%	95.1%	93.4%	89.5%	87.2%	86.4%	86.0%	83.1%	82.3%	79.8%	79.9%	74.8%	-25.2%
福島	100.0%	96.0%	92.0%	91.9%	90.0%	87.3%	84.6%	84.1%	82.2%	79.1%	84.6%	82.8%	81.4%	77.5%	-22.5%
東北計	100.0%	96.4%	91.9%	93.5%	92.0%	89.7%	87.3%	86.5%	85.1%	83.4%	83.7%	81.5%	80.9%	76.9%	-23.1%
茨城	100.0%	97.6%	92.9%	95.9%	94.7%	90.2%	89.5%	87.1%	88.5%	87.7%	85.3%	84.8%	83.9%	80.7%	-19.3%
栃木	100.0%	97.1%	95.5%	95.0%	95.6%	92.2%	90.8%	88.6%	87.3%	86.5%	84.6%	85.9%	83.1%	80.7%	-19.3%
群馬	100.0%	96.4%	93.0%	94.5%	93.1%	92.2%	89.2%	87.1%	85.8%	83.8%	82.2%	81.6%	78.6%	76.3%	-23.7%
埼玉	100.0%	98.4%	96.3%	99.0%	99.1%	97.9%	97.5%	96.6%	94.9%	94.5%	94.3%	91.4%	93.2%	89.6%	-10.4%
千葉	100.0%	99.1%	95.4%	98.3%	98.4%	98.1%	96.4%	95.5%	96.0%	94.2%	93.0%	93.4%	92.7%	89.0%	-11.0%
東京	100.0%	98.3%	96.3%	100.5%	102.1%	101.6%	102.0%	102.1%	99.1%	99.7%	100.9%	102.6%	102.4%	100.0%	0.0%
神奈川	100.0%	97.7%	95.3%	98.0%	98.9%	97.6%	96.3%	96.4%	96.9%	96.6%	94.4%	94.9%	93.9%	90.4%	-9.6%
関東計	100.0%	98.1%	95.5%	98.4%	99.0%	97.8%	97.0%	96.4%	95.4%	95.0%	94.3%	94.8%	94.0%	90.9%	-9.1%
新潟	100.0%	97.2%	93.0%	95.7%	93.5%	92.5%	89.8%	91.1%	88.8%	86.9%	86.1%	83.0%	82.5%	78.3%	-21.7%
富山	100.0%	97.4%	94.6%	93.3%	91.6%	89.7%	88.3%	84.4%	84.2%	82.3%	82.0%	80.3%	79.5%	76.8%	-23.2%
石川	100.0%	95.1%	92.1%	94.5%	96.6%	93.4%	90.6%	88.1%	91.3%	87.8%	88.0%	85.1%	84.4%	81.3%	-18.7%
福井	100.0%	98.9%	97.5%	98.6%	98.4%	96.1%	93.5%	91.7%	91.6%	89.3%	86.8%	84.7%	85.3%	82.3%	-17.7%
山梨	100.0%	97.0%	94.3%	93.8%	92.4%	91.0%	88.5%	88.0%	86.1%	83.4%	82.0%	82.8%	82.5%	78.5%	-21.5%
長野	100.0%	97.2%	94.6%	95.9%	95.0%	92.6%	88.7%	89.1%	88.6%	85.8%	84.6%	84.4%	82.0%	78.6%	-21.4%
岐阜	100.0%	95.8%	93.5%	95.2%	93.6%	92.0%	88.9%	89.5%	90.0%	87.8%	85.0%	82.3%	81.7%	78.4%	-21.6%
静岡	100.0%	98.6%	94.7%	96.7%	97.8%	95.5%	93.9%	93.4%	91.9%	89.7%	88.3%	84.4%	84.5%	80.5%	-19.5%
愛知	100.0%	99.2%	96.0%	99.2%	99.8%	99.2%	98.2%	98.3%	97.3%	95.9%	93.8%	93.1%	93.0%	90.5%	-9.5%
中部計	100.0%	98.0%	94.8%	97.0%	96.9%	95.3%	93.4%	93.1%	92.4%	90.3%	88.7%	86.9%	86.5%	83.3%	-16.7%
三重	100.0%	97.5%	93.4%	95.9%	94.9%	93.8%	92.4%	91.3%	91.0%	88.0%	86.0%	83.8%	83.7%	80.4%	-19.6%
滋賀	100.0%	98.2%	94.9%	98.5%	97.8%	98.1%	96.8%	96.8%	96.4%	95.4%	94.3%	92.8%	91.6%	88.1%	-11.9%
京都	100.0%	98.1%	97.6%	99.0%	98.0%	94.4%	93.0%	92.3%	91.0%	88.4%	88.2%	87.0%	86.7%	83.7%	-16.3%
大阪	100.0%	97.9%	94.0%	96.1%	96.4%	94.8%	92.9%	92.8%	92.5%	91.1%	89.2%	88.9%	88.3%	86.0%	-14.0%
兵庫	100.0%	98.2%	94.6%	96.7%	96.9%	96.0%	93.6%	93.8%	95.7%	93.3%	91.3%	90.6%	88.9%	87.5%	-12.5%
奈良	100.0%	96.8%	93.6%	95.8%	95.7%	91.1%	89.3%	88.5%	87.2%	86.7%	84.6%	80.9%	81.5%	78.0%	-22.0%
和歌山	100.0%	94.4%	91.9%	92.3%	93.0%	91.7%	88.4%	87.1%	88.1%	85.9%	82.0%	82.9%	80.8%	76.5%	-23.5%
近畿計	100.0%	97.8%	94.4%	96.5%	96.5%	94.8%	92.9%	92.6%	92.8%	90.9%	89.1%	88.2%	87.4%	84.9%	-15.1%
鳥取	100.0%	96.6%	93.7%	94.2%	93.7%	87.5%	89.8%	87.1%	93.5%	88.1%	90.4%	87.2%	87.2%	83.9%	-16.1%
島根	100.0%	99.7%	94.5%	99.8%	98.4%	92.5%	92.3%	91.6%	95.7%	94.6%	93.7%	91.9%	93.2%	88.4%	-11.6%
岡山	100.0%	97.7%	94.8%	97.1%	97.6%	95.2%	93.8%	94.3%	92.8%	91.5%	90.0%	89.8%	87.5%	84.9%	-15.1%
広島	100.0%	97.4%	95.2%	97.8%	98.5%	96.8%	96.5%	97.1%	96.5%	94.9%	93.2%	91.9%	90.3%	86.4%	-13.6%
山口	100.0%	97.8%	93.9%	95.2%	95.8%	94.2%	93.3%	94.5%	90.8%	89.7%	88.5%	84.3%	85.5%	80.4%	-19.6%
中国計	100.0%	97.7%	94.7%	97.0%	97.4%	94.8%	94.3%	94.6%	94.2%	92.5%	91.4%	89.6%	88.7%	84.9%	-15.1%
徳島	100.0%	97.4%	91.9%	94.6%	92.1%	92.4%	89.8%	92.0%	90.7%	88.3%	85.6%	85.7%	85.3%	81.9%	-18.1%
香川	100.0%	100.1%	95.0%	95.5%	95.6%	95.3%	93.7%	92.0%	92.6%	90.6%	89.9%	88.4%	85.3%	84.7%	-15.3%
愛媛	100.0%	95.3%	90.9%	94.2%	94.3%	92.0%	92.7%	90.9%	91.3%	87.7%	85.8%	83.4%	80.8%	79.5%	-20.5%
高知	100.0%	95.9%	94.9%	96.8%	92.1%	94.2%	88.2%	88.7%	86.6%	86.9%	85.6%	83.6%	83.8%	78.4%	-21.6%
四国計	100.0%	97.1%	92.9%	95.1%	93.8%	93.3%	91.6%	91.0%	90.7%	88.4%	86.8%	85.2%	83.3%	81.2%	-18.8%
福岡	100.0%	99.4%	97.1%	101.0%	103.8%	103.2%	102.3%	104.1%	103.5%	102.4%	101.9%	101.1%	100.4%	97.2%	-2.8%
佐賀	100.0%	98.8%	95.5%	98.7%	99.5%	95.8%	93.4%	93.9%	95.3%	91.9%	91.2%	89.2%	88.8%	85.7%	-14.3%
長崎	100.0%	97.6%	95.0%	95.9%	95.3%	95.8%	92.8%	93.7%	92.9%	90.5%	91.0%	89.5%	87.0%	85.0%	-15.0%
熊本	100.0%	98.8%	96.1%	98.0%	101.1%	99.8%	99.1%	100.1%	99.4%	97.6%	97.3%	96.7%	95.4%	91.4%	-8.6%
大分	100.0%	96.9%	94.8%	98.3%	97.9%	97.7%	94.2%	96.1%	94.6%	93.3%	92.7%	88.1%	89.8%	85.9%	-14.1%
宮崎	100.0%	98.9%	95.4%	98.0%	102.0%	98.9%	98.7%	99.2%	99.1%	95.5%	95.8%	93.1%	89.9%	88.5%	-11.5%
鹿児島	100.0%	97.8%	96.0%	97.9%	98.2%	98.4%	97.2%	97.8%	98.2%	96.6%	93.9%	93.2%	91.8%	88.5%	-11.5%
沖縄	100.0%	100.2%	98.0%	101.5%	102.4%	104.0%	103.1%	105.9%	104.5%	104.2%	105.0%	102.2%	105.2%	101.6%	1.6%
九州・沖縄計	100.0%	98.8%	96.4%	99.3%	101.0%	100.5%	99.1%	100.5%	100.0%	98.4%	98.0%	96.4%	95.9%	92.7%	-7.3%

令和4年度および過去の学校基本調査より算出・加工 / 高校3年生相当年齢の年度を18歳人口年度と設定

© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

株式会社 教育企画センター
Planning Center of Professional Education

都道府県別18歳人口予測値推移

※2021年を100%とし、以降の増減を%で表示しています。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	2032 年度	2033 年度	2034 年度
全国計	1,121,285	1,097,105	1,062,870	1,090,537	1,092,647	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429
北海道	44,276	42,523	41,028	41,855	41,166	40,565	39,671	39,594	39,231	38,192	37,974	36,959	36,612	34,669
北海道計	44,276	42,523	41,028	41,855	41,166	40,565	39,671	39,594	39,231	38,192	37,974	36,959	36,612	34,669
青森	11,250	10,765	10,068	10,193	9,914	9,787	9,304	9,450	9,215	8,840	8,808	8,625	8,576	8,373
岩手	11,138	10,680	10,083	10,393	10,086	9,898	9,681	9,530	9,351	9,193	9,122	8,804	8,637	8,265
宮城	20,765	19,930	19,235	19,765	19,988	19,498	19,077	18,962	18,663	18,970	18,625	18,115	18,218	17,140
秋田	7,909	7,783	7,411	7,540	7,311	7,094	6,955	6,676	6,630	6,368	6,167	6,031	5,923	5,605
山形	9,808	9,613	9,112	9,324	9,159	8,774	8,556	8,475	8,435	8,151	8,069	7,829	7,832	7,334
福島	17,276	16,578	15,900	15,876	15,555	15,078	14,618	14,528	14,205	13,669	14,613	14,309	14,063	13,395
東北計	78,146	75,349	71,809	73,091	72,013	70,129	68,191	67,621	66,499	65,191	65,404	63,713	63,249	60,112
茨城	26,976	26,316	25,051	25,866	25,542	24,326	24,135	23,492	23,870	23,663	23,018	22,884	22,646	21,763
栃木	18,223	17,694	17,398	17,320	17,429	16,798	16,543	16,141	15,917	15,758	15,419	15,653	15,140	14,708
群馬	18,521	17,861	17,218	17,501	17,238	17,075	16,520	16,135	15,887	15,512	15,228	15,121	14,560	14,135
埼玉	63,542	62,506	61,183	62,910	62,970	62,205	61,935	61,367	60,306	60,053	59,904	59,360	59,227	56,945
千葉	53,904	53,397	51,411	52,978	53,061	52,902	51,973	51,468	51,735	50,767	50,142	50,349	49,963	47,978
東京	104,018	102,239	100,133	104,524	106,218	105,701	106,080	106,249	103,128	103,741	104,978	106,759	106,535	103,968
神奈川	77,892	76,113	74,208	76,305	77,058	75,984	75,000	75,109	75,444	75,277	73,562	73,937	73,120	70,437
関東計	363,076	356,126	346,602	357,404	359,516	354,991	352,186	349,961	346,287	344,771	342,251	344,063	341,191	329,934
新潟	19,716	19,157	18,343	18,862	18,442	18,234	17,706	17,965	17,511	17,127	16,972	16,364	16,257	15,429
富山	9,552	9,305	9,037	8,910	8,752	8,565	8,439	8,064	8,047	7,859	7,834	7,671	7,595	7,335
石川	10,689	10,164	9,849	10,098	10,328	9,985	9,689	9,420	9,758	9,383	9,405	9,098	9,019	8,690
福井	7,304	7,222	7,122	7,205	7,188	7,018	6,830	6,701	6,694	6,522	6,337	6,190	6,232	6,013
山梨	7,561	7,335	7,128	7,090	6,983	6,884	6,692	6,655	6,508	6,305	6,202	6,261	6,235	5,937
長野	19,630	19,078	18,562	18,830	18,650	18,173	17,419	17,481	17,400	16,848	16,598	16,575	16,106	15,420
岐阜	19,463	18,641	18,201	18,534	18,218	17,901	17,304	17,426	17,518	17,088	16,547	16,009	15,903	15,262
静岡	33,864	33,397	32,080	32,763	33,130	32,337	31,791	31,642	31,105	30,380	29,892	28,595	28,607	27,267
愛知	70,289	69,740	67,495	69,750	70,155	69,749	69,046	69,093	68,375	67,426	65,947	65,429	65,343	63,583
中部計	198,068	194,039	187,817	192,042	191,846	188,846	184,916	184,447	182,916	178,938	175,734	172,192	171,297	164,936
三重	16,894	16,477	15,774	16,206	16,026	15,840	15,614	15,421	15,379	14,862	14,531	14,157	14,133	13,578
滋賀	14,028	13,774	13,317	13,815	13,725	13,760	13,574	13,576	13,528	13,389	13,225	13,011	12,856	12,359
京都	22,738	22,309	22,199	22,516	22,277	21,473	21,136	20,995	20,684	20,090	20,059	19,774	19,716	19,039
大阪	77,446	75,832	72,803	74,431	74,633	73,391	71,985	71,837	71,675	70,528	69,056	68,830	68,351	66,574
兵庫	49,960	49,057	47,250	48,307	48,387	47,948	46,752	46,861	47,787	46,602	45,626	45,248	44,435	43,712
奈良	12,847	12,433	12,025	12,311	12,290	11,699	11,469	11,376	11,204	11,138	10,873	10,388	10,465	10,016
和歌山	8,607	8,126	7,907	7,946	8,001	7,890	7,612	7,500	7,587	7,394	7,054	7,131	6,958	6,582
近畿計	202,520	198,008	191,275	195,532	195,339	192,001	188,142	187,566	187,844	184,003	180,424	178,539	176,914	171,860
鳥取	5,261	5,082	4,931	4,958	4,929	4,601	4,722	4,581	4,920	4,637	4,755	4,588	4,586	4,415
島根	6,009	5,993	5,678	5,999	5,913	5,559	5,544	5,506	5,749	5,682	5,629	5,523	5,602	5,310
岡山	17,692	17,293	16,767	17,171	17,267	16,849	16,592	16,684	16,417	16,190	15,923	15,886	15,488	15,024
広島	25,929	25,245	24,673	25,352	25,535	25,087	25,009	25,166	25,033	24,596	24,177	23,836	23,412	22,409
山口	11,930	11,669	11,198	11,358	11,431	11,244	11,127	11,269	10,831	10,698	10,558	10,058	10,204	9,586
中国計	66,821	65,282	63,247	64,838	65,075	63,340	62,994	63,206	62,950	61,803	61,042	59,891	59,292	56,744
徳島	6,394	6,229	5,876	6,047	5,887	5,910	5,744	5,880	5,797	5,645	5,472	5,480	5,455	5,236
香川	8,936	8,949	8,491	8,536	8,544	8,517	8,371	8,225	8,276	8,100	8,032	7,897	7,620	7,573
愛媛	12,503	11,914	11,366	11,778	11,791	11,505	11,588	11,366	11,409	10,965	10,728	10,432	10,097	9,945
高知	6,008	5,764	5,701	5,815	5,535	5,657	5,301	5,330	5,202	5,221	5,141	5,020	5,032	4,708
四国計	33,841	32,856	31,434	32,176	31,757	31,589	31,004	30,801	30,684	29,931	29,373	28,829	28,204	27,462
福岡	45,564	45,280	44,253	46,018	47,297	47,033	46,605	47,412	47,159	46,659	46,446	46,069	45,764	44,308
佐賀	8,172	8,073	7,802	8,069	8,129	7,827	7,633	7,676	7,788	7,506	7,449	7,293	7,260	7,002
長崎	12,437	12,136	11,814	11,932	11,852	11,919	11,547	11,653	11,555	11,251	11,316	11,128	10,826	10,570
熊本	16,348	16,156	15,706	16,028	16,536	16,315	16,203	16,359	16,245	15,950	15,906	15,812	15,595	14,943
大分	10,178	9,861	9,650	10,008	9,960	9,941	9,583	9,780	9,630	9,501	9,438	8,968	9,138	8,745
宮崎	10,262	10,147	9,794	10,052	10,469	10,154	10,129	10,176	10,171	9,797	9,832	9,556	9,222	9,077
鹿児島	15,445	15,105	14,831	15,127	15,171	15,200	15,014	15,109	15,165	14,920	14,508	14,389	14,173	13,674
沖縄	16,131	16,164	15,808	16,365	16,521	16,776	16,633	17,075	16,862	16,802	16,945	16,493	16,977	16,393
九州・沖縄計	134,537	132,922	129,658	133,599	135,935	135,165	133,347	135,240	134,575	132,386	131,840	129,708	128,955	124,712

令和4年度および過去の学校基本調査より算出・加工 / 高校3年生相当年齢の年度を18歳人口年度と設定

© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

株式会社 教育企画センター
Planning Center of Professional Education

③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学の学生募集対象は、日本人学生、外国人留学生、社会人であり、学生募集地区は《表5》佐賀県と中心とした九州内の近隣地区である。過去3年間の傾向から、大幅にターゲットとする地区が変わるとは考えていないが、外国人留学生の増加により、各県の占有率が若干変化しつつあり、この傾向は今後とも続くと考える。

《表5》各学科コースの3年間の出身都道府県

○令和4年度

学科	コース	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	※外国人留学生	計
地域みらい	福祉とソーシャルケア		8								18	26
	韓国語文化	2	9	2	1		1	2	1	2		20
	グローバル共生IT		8	1								9
	司書アーカイブズ		3							2		5
こども未来	こども教育	5	13	2			1					21
	こども保育	1	18	4		1						24
	こども養護	4	29	1			1					35
計		12	46	10	1	1	3	2	1	4		140
占有率		0.09	0.63	0.07	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.03	0.13	1.00
※外国人留学生の出身国 ・福祉とソーシャルケアコース 18名（ネパール 13名・ミャンマー 5名）												

○令和5年度

学科	コース	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	※外国人留学生	計
地域みらい	福祉とソーシャルケア		8								26	34
	韓国語文化	2	11	2	1		1		2	2		21
	グローバル共生IT	1	1									2
	司書アーカイブズ	1	10	2	1				1			15
こども未来	こども教育	1	8	3		1	1	1	1			16
	こども保育		29	2			2	1				34
	こども養護	4	17	9		1				3		34
計		9	55	18	2	2	4	2	4	5	26	156
占有率		0.06	0.54	0.12	0.01	0.01	0.03	0.01	0.03	0.03	0.17	1.00

※外国人留学生の出身国

・福祉とソーシャルケアコース 26名（ミャンマー 26名）

○令和6年度

学科	コース	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	※外国人留学生	計
地域みらい	福祉とソーシャルケア		6								32	38
	韓国語文化		12	3		2		5	5	4		31
	グローバル共生IT		1								8	9
	司書アーカイブズ	1	6									7
子ども未来	子ども教育	1	5	1								7
	子ども保育	1	17	3								21
	子ども養護	1	19	7			2					29
計		4	56	14	0	2	2	5	5	4	40	142
占有率		0.03	0.46	0.10	0.00	0.01	0.01	0.04	0.04	0.03	0.28	1.00
※外国人留学生の出身国 ・福祉とソーシャルケアコース 32名（ネパール 2名・ミャンマー 30名） ・グローバル共生ITコース 6名（ミャンマー 6名）												

○日本人学生

地域的に九州全域がターゲットであるが、入学者が一番多い地元の佐賀県からは、令和4～6年度の3年間で46名→55名→56名と平均52.3人であるが、占有率0.63→0.54→0.46と約0.1ポイントずつ減ってきている。これは、外国人留学生の占める割合が増えたため、日本人学生の割合が減ってきたことによる。付属高校からの進学者は42名→29名→30名(占有率0.3→0.19→0.21)と約30人は定期的に入学者が見込める状況である。

※ 後述「(3) 学生確保の見通し (i) 高大連携(教育連携)」付属高校

○外国人留学生

「福祉とソーシャルケアコース」において、外国人留学生の占有率は高く、18名→26名→32名(占有率0.13→0.17→0.23)と推移している。なお、佐賀県では《表6》「介護福祉士修学資金貸付制度」を利用することで、介護福祉士を目指す学生への学費の貸付制度が行われている。この制度を日本人学生と共に外国人留学生が利用することに加え、大幅な介護人材不足により民間の奨学金(施設による施設奨学金)の利用も増えており、この傾向は今後も続くと考えられる。また、令和6年度は

「グローバル共生ITコース」に初めて外国人留学生が入学した。多文化理解、英語を中心とした外国語学習、ICTに関する技術や情報、グラフィック、WEBデザイン分野など多岐に渡る専門を学ぶことにより、日本での就職を考えた外国人留学生であり、介護福祉士養成課程同様に、この増加傾向は今後とも続くと考えられる。

《表6》介護福祉士修学資金等貸付制度

制度の概要	佐賀県内で必要とされる福祉人材の養成・確保を目的として創設された貸付制度である。佐賀県内の福祉施設等で、継続して5年以上、介護福祉士等として働き続けられれば、5年間で終了した時点で貸し付けた修学資金の返還義務が免除される。		
貸付金額	入学準備金	一時金	20万円以内
	授業料	月額	5万円以内
	就職準備金	一時金	20万円以内

○社会人学生

社会人学生（社会人入試・委託訓練生入試）の入学は数名と少なく、特に、委託訓練生については、佐賀県が介護福祉士の人材不足を解消するために、佐賀県立産業技術学院介護福祉士養成科に委託して行う職業訓練制度であり、入学者の学費を全額負担する制度である。ただし、学費の全額免除であっても入学者が非常に少ないため、自治体やハローワークによる告知だけでなく、本学独自に卒業生や各種の地域連携の場を利用したPR活動、付属高校による卒業生への告知を行っているが増加にまでは及んでいない。なお、社会人学生は、介護福祉士、保育士、小学校教諭、養護教諭などの免許資格により職業に直轄したコースに入学する傾向がある。多くの入学者は難しいが、今後とも5名程度の定期的な入学者は見込める。

《表7》社会人学生（社会人入試・委託訓練生入試）の推移

入試種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会人	・こども教育2名	・こども教育2名	・こども教育1名
		・こども保育1名	
		・こども養護1名	
委託訓練生		・福祉とソーシャルケア1名	・福祉とソーシャルケア1名
	・こども保育3名	・こども保育4名	・こども保育2名
計	5名	9名	5名

④ 既設組織の定員充足の状況

本学の《表8》5年間の定員充足率は約70%～80%台を推移しており、令和2年度および令和3年度は収容定員充足率が80%を上回った。令和4年度に栄養士養成課程である「食とヘルスマネジメントコース」の募集停止と同時に定員変更を行った

が（210名→190名）、入学定員と収容定員の両方とも80%を上回ることはできなかった。その後、一時的に80%を回復することはできたが、再び、令和6年度は入学定員と収容定員両方とも80%を下回るという厳しい結果となっている。特に「地域みらい学科」のグローバル共生ITコースと司書アーカイブズコースの低迷が影響したと考えられる。

《表8》各学科・全学科の5年間の入学者数・定員充足率の推移

※充足率は小数点第2位未満を切り捨て

※収容定員は1・2年生の在在学生から算出

① 地域みらい学科

学科	コース	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域みらい	食とヘルスマネジメント	22	12			
	福祉とソーシャルケア	34	44	26	34	38
	韓国語文化	26	38	20	21	31
	グローバル共生IT	26	22	9	2	9
	司書アーカイブズ			5	15	7
入学者数		108	116	60	72	85
入学定員		130	130	110	110	110
入学定員充足率		0.83	0.89	0.54	0.65	0.77
収容定員充足率		0.85	0.94	0.72	0.69	0.70

② こども未来学科

学科	コース	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
こども未来	こども教育	17	17	21	16	7
	こども保育	27	40	24	34	21
	こども養護			35	34	29
入学者数		44	57	80	84	57
入学定員		80	80	80	80	80
入学定員充足率		0.55	0.71	1.00	1.05	0.71
収容定員充足率		0.72	0.62	0.83	1.02	0.86

【全学科】（① 地域みらい学科 + ②こども未来学科）

学科	コース	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域みらい	全コース	108	116	60	72	85
こども未来	全コース	44	57	80	84	57
総入学者数		152	173	140	156	142
総定員		210	210	190	190	190
定員充足率		0.72	0.82	0.73	0.82	0.74
収容定員充足率		0.80	0.82	0.76	0.82	0.76

⑤ 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

- 建学の精神を基に、各学科・コースでアドミッション・ポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの3ポリシーについて、募集要項、学生便覧等で全学生に周知している。
- 社会が要請するキャリア教育を全学科共通必修科目「キャリア入門」として開設している。
- 資格取得のための実習・インターンシップ等を通して、社会人として「働く」ことの意味を深めるよう指導している。既定の実習のほかに学生が自発的に行う自主実習でも同様である。
- 学生が自らの学びの成果を蓄積し整理し振り返ることができるポートフォリオ作成を実施している。

当目的を遂行するために、各学科や事務部門の代表者で運営する学生キャリア支援室を設置し、支援内容の標準化や効率化をはかり、質の高い就職支援に努めることで、佐賀県内を中心に地域に貢献できる人材を輩出している。

(i) 就職相談支援体制

- 各学科や事務部門の代表者で運営する学生キャリア支援室を設置し、支援内容の標準化や効率化をはかり、質の高い就職支援に努めている。
- 1年次より、「キャリア入門」として社会人として必要な資質を身につけることを目標とした学生時代に学んでおきたい人間関係や生活や社会のルール等の多彩な内容の講義を実施している。また、就職ガイダンスを複数回実施し、就職についての意識付けから、就職活動、内定者を対象としたセミナー等を行っている。
- 佐賀女子短期大学では、コースごとに担当教員を配置するアドバイザー制度を導入していたが、よりきめ細やかな学生指導および就職指導を行えるように、コース内の学生をより細分化し指導する"指導教員制度"を導入し、より一層の支援体制を整えている。学期ごとに"指導教員"による学生との個人面談で学修・生活指導のほか、卒業後の就職等についての相談を行っており、その情報は事務部門とも共有し双方からの支援が行えるようにしている。2年次前期には保護者会も実施し、保護者との関係性もきちんと築いた上で学生指導を行っている。
- 事務局では、学生支援課が就職支援を担当。同じスタッフが入学から卒業まで一貫して学生に関わり、学生生活全般の支援を行うことにより、就職満足度の向上を目指している。就職先開拓については平素から、インターンシップ等を通して企業等との交流を頻繁に行っている。
- 毎年県内外の事業所へアンケート等を依頼し、本学の教育内容についてのヒアリン

グを行っている。こうした活動の一つひとつが就職先開拓と同様の意味を持ち、就職の選択肢は自ずと広がっていく状況にある。

○ジョブカフェ SAGA による就職ガイダンスや、学内就職相談会を毎月行うヤングハローワーク SAGA との連携を密にし、求人情報を得やすい環境づくりに努めている。さらにハローワーク SAGA の専門員による、配慮が必要な学生の進路活動のサポートについても継続して行っていく。

(ii) 卒業後の進路について

○佐賀女子短期大学の場合、保育士・幼稚園教諭（こども未来学科）、介護福祉士（福祉とソーシャルケアコース）等の専門職としての就職が中心であるが、地域みらい学科の就職に関しては一般企業および事業所が中心である。

○過去3年間の進路状況【資料2-1～2-3】に示すとおり、100%～97%の高い進路決定率となっている。

○地元佐賀県は企業誘致を積極的に行っており、特に IT 関連の企業の進出が多くなっている。

○人材確保の観点から、進出希望企業の多くは進出前に本学「地域みらい学科」の状況についてヒアリングに来られ、学科の方針等に共感し、実際数名の学生を採用している。

(3) 学生確保の見通し

① 収容定員を変更する組織の現状

今回の収容定員変更は全学科「地域みらい学科」「こども未来学科」に係る届出であり、「地域みらい学科」110名を100名、「こども未来学科」80名を70名、2学科合計で190名を170名とする収容定員減への変更である。【資料1-1・1-2】のとおり、本学の入学者は、この30年間ほぼ毎年減少しており、既に令和6年度の収容定員充足率は、高等教育の修学支援新制度の要件の1つである「経営要件を満たすことを示す資料（申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況）」が80%を割り込み《表9》76%となった。全国的に短期大学は《表10》在学者数、進学率、学校数の減少と[図1]4年制大学への進学率の上昇によって今後も厳しい状況が予想される。なお、本学が位置する佐賀県は、九州第一の大都市である福岡県（福岡市）が隣接しているという地理的マイナス要因も大きい。今や全国の市町村で若年女性人口率が日本一となった福岡市が60分以内の通学圏内という事実は、佐賀県の若年人口流出をますます加速させている。令和6年度の学生募集活動において、高校訪問、進学ガイダンス、教員説明会、オープンキャンパス等の動向による入学者予測では、昨年度より手応えを感じてはいるが、確実に現在の入学定員の190名を確保できるという客観的なエビデンスに乏しい。令和7年度も収容定員80%を2年連続で下回り、その後3年連続となった場合を考え、2学科の定員減の変更により、現実的に入学定員を充足できる170名を設定することとした。

《表9》高等教育の修学支援新制度 省令で定める基準（大学等の経営基盤関係）

経営要件を満たすことを示す資料（申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況）

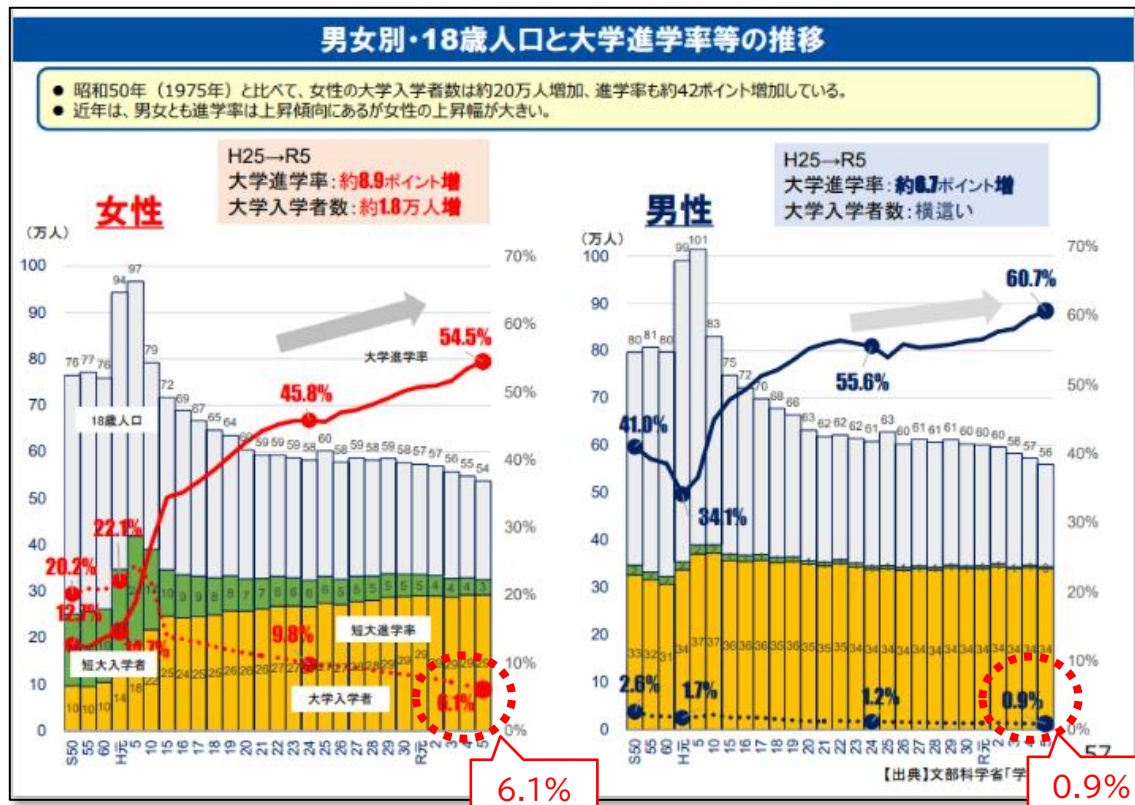
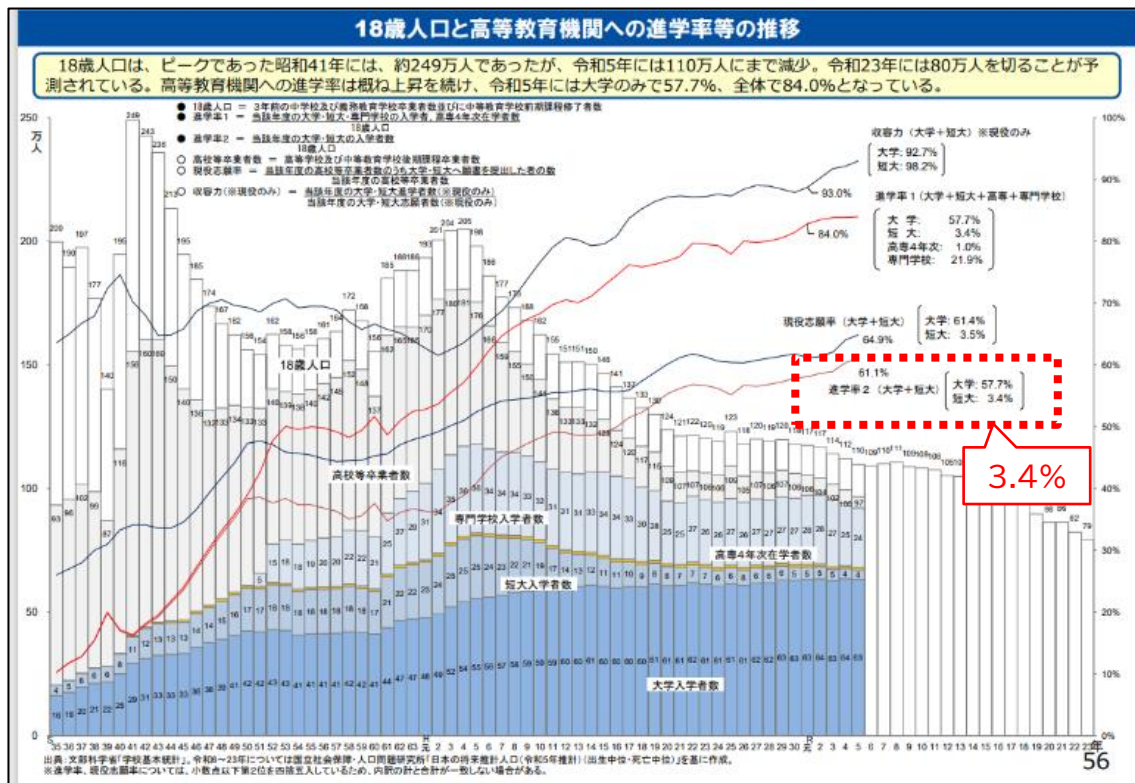
	収容定員(E)	在学者等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度（申請年度）	380人	292人	76%
前年度	380人	315人	82%
前々年度	400人	306人	76%

《表10》学校基本調査（短期大学より抜粋）

※平成5年(1993年)・平成6年(1994年)・令和5年(1993年)

	在学者数	進学率	学校数
ピーク時 ↓ 現在	(1993年)530,294人 ↓30年 (2023年)86,686人	(1994年)13.2% ↓29年 (2023年)3.4%	(1996年)598校 ↓27年 (2023年)300校
ピーク比	0.16	0.26	0.50
減少率	▲84%	▲74%	▲50%

[図1] 18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移
男女別：18歳人口と大学進学率等の推移



出典：令和6年6月28日 文部科学省 高等教育の在り方に関する特別部会（第7回）

配付資料【参考資料1】関係データ集 (2)高等教育の現状 関連データ「18歳人口と高等教育進学率」

②収容定員を変更する組織の学生募集の取組

「ア 定員充足の見込み」の記載のように厳しい条件下であるが、(i)高大連携、(ii)男女共学、(iii)外国人留学生、(iv)総合型選抜入試の変更、(v)年間学費の4分割制度等の5点により、変更後の入学定員170名は確保できる見込みである。

(i) 高大連携（教育連携）

本学の各学科・コースにおいて令和6年度は積極的に《表11》「高大連携」を以下の高校に個別に打診し、この数カ月で数校とは連携協定を締結することになった。具体的には、本学教員による出張授業、オンライン授業、高校生と本学学生との共同授業、出張オープンキャンパス、出張進学説明会など多岐に渡る。現在、高校2年生を中心として令和7年度募集として各高校と調整中であるが、各高校において佐賀女子短期大学の認知度が高まっていることから、志願者増に繋がると考えている。

《表11》令和6年度の高大連携（教育連携）検討高校

学科	コース	連携校		備考
地域みらい	福祉とソーシャルケア	佐賀県	<input checked="" type="checkbox"/> 佐賀女子高校	附属高校
			A	
			B	(連携 調整中)
		C		
		専門学校	D	日本語学校
			E	日本語学校
	F		日本語学校	
	情報デザイン・コミュニケーション 司書アーカイブズ	佐賀県	<input checked="" type="checkbox"/> 佐賀女子高校	附属高校
			G	美術コース
		H	グローバルビジネス科 情報処理科	
韓国語文化	佐賀県	I	(連携 調整中)	
		J		
	長崎県	K		
こども未来	福岡県	L		
	佐賀県	<input checked="" type="checkbox"/> 佐賀女子高校	附属高校	
		M		
		N		

○は附属高校 □は連携済の高等学校

(ii) 男女共学

(iii) 外国人留学生

令和6年度入学者から、多様性を尊重する時代の変化に合わせた取り組みとして、「地域みらい学科」を「男女共学」とした。[図1]4年制大学男子の進学率60.7%に反し、短期大学の男子の進学率は0.9%と1.0%を割っている状況ではあるが、「福祉とソーシャルケアコース」と「情報デザイン・コミュニケーションコース」に

は《表 12》外国人留学生のからのニーズがあるとの判断である。「男女共学」初年度である令和6年は「福祉とソーシャルケアコース」に2名、「情報デザイン・コミュニケーションコース（現：グローバル共生ITコース）」に4名の男子が入学した。

さらに、令和7年度入学者からは保育士だけでなく、近年社会問題化している小学校教諭の不足に対応するため「こども未来学科」も「男女共学」にする。全ての学科を「男女共学」にすることで男子による入学者増を見込んでいる《表 13》。

《表 12》将来的に男女共学・外国人留学生により男子入学者が見込まれるコース

学科	コース	主な特色	男子見込数	(男子留学生内数)
地域みらい	福祉とソーシャルケア	介護福祉士	5～10名	(5～10名)
	韓国語文化コース	韓国語	1～2名	
	情報デザイン・コミュニケーション	デザインスキル	5～15名	(10～15名)
	司書アーカイブズ	司書	1～2名	
こども未来	こども教育コース	小学校教諭	2～3名	
	こども保育コース	保育士	1～2名	
	こども養護コース	養護教諭	0名	
合計			15～34名	(15～25名)

《表 13》外国人留学生入学者の3年間の推移

学科	コース	地域みらい学科 男女共学			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		女子	女子	男子	女子
地域みらい	福祉とソーシャルケア	18	26	2	30
	韓国語文化コース				
	グローバル共生ITコース			4	4
	司書アーカイブズ				
こども未来	こども教育コース				
	こども保育コース				
	こども養護コース				
合計		18	26 (前年比+8)	6	34 (前年比+14)

※令和6年度 入学者の男子学生6名＝入学者の外国人留学生6名

(iv) 総合型選抜入試の変更

年内入試の1つとされる「総合型選抜」については、I～V期の5回を設け、エントリー受付を9月以降、面談日を10月以降として長年実施してきた。4年制大学を含めて早期決定する入試である年内入試が主流となった今、令和6年度入試は、本学の中心的入試である「学校推薦型選抜（11月以降）」から「総合型選抜」に学生募集方針を変更した。その結果、例年、6名前後であった「総合型選抜」入学者が前年度の

3倍の"18名" (12名増) となった。特に、エントリー時期を6月中旬以降と早くただけでなく、一番の要因は、プレゼンテーション内容を"全国初の試みとして導入した" [図2] ①「推し活型」「アオハルPR型」「インフルエンサー型」の3タイプを選択してプレゼンテーションを行う選考方法が大きく貢献したと言える。

令和7年度は更なる入学者増を期待し②I期について10万円×16名の奨学金支給、③エントリー時期を4月下旬以降、④面談内容をアドミッション・ポリシーの理解も含めて具体的に提示、⑤合格体験談の4点を追加した。その結果、今年度7月時点(7月20日時点)のエントリー数は、前年度の1名から11名(10名増)と大幅に躍進し、確実に《表14》入学者を23~25名(プラス5名以上)と見込んでいる。

[図2]令和7年度 総合型選抜募集リーフレット

入学までのスケジュール

- ① **エントリー** 総合型選抜試験の募集表示です。募集の二次エントリーコードを請求用紙にてエントリーします。氏名・住所など必要事項を入力してください。エントリー完了後、募集コードを送付します。Recapの「印刷」まで集約資料は発行しません。
- ② **面談申込み** 送付された募集シートに必要な事項を記入して、メールまたは郵送で面談の申込みをしてください。申込み実行後、面談の日程を決定しご連絡します。試験提出タイプで申込みの場合は、募集日の1週間前までに試験提出してもらいます。なお、選考の方向についてはオンラインでの説明も可能です。ご相談ください。
- ③ **面談(プレゼンテーション)** 募集シートと提出された課題(課題提出タイプのみ)をもとに、面談を実施します。プレゼンタイプで申込みした人は、面談とプレゼンテーションを合わせて実施します。
- ④ **総合型選抜リストへの登録** 課題またはプレゼンテーションおよび面談の結果、本学への入学が適当であると判断された人は「総合型選抜リスト」に登録されます。リスト登録の通知は本人と所属高校(高校在学中の人のみ)あてに郵送します。
- ⑤ **出願** 「総合型選抜リスト」に登録された人は、本学の総合型選抜試験に出願することが可能になります。出願票をそろえて、出願期限内に提出してください。出願料はこのタイミングで併せてお支払いします。
- ⑥ **可否通知** 出願書類を審査の上、最終的な可否を判定します。結果は本人と所属高校(高校在学中の人のみ)あてに郵送します。
- ⑦ **入学前学習** 入学後の学びをより充実なものにするために、入学前学習を実施します。情報的に学びを深めよう。

2025年度 総合型選抜ガイド

▼サジョクンの総合型選抜試験とは？

▼3つのタイプから選んでエントリー

- 推し活型** 自分が最も好きなアイドル、アニメ、本、動物、映画など、とにかく熱しているものであれば、とにかく熱いことをアピールする試験方法です。あなたの趣味、熱意、実力を伸ばします。(課題提出タイプ/プレゼンタイプ)
- アオハルPR型** クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動、部活、海外研修参加、修学・資格取得など、高校生活の中で取り組んできたことをアピールする試験方法です。あなたの個性や実力、達成感を伸ばします。(課題提出タイプ/プレゼンタイプ)
- インフルエンサー型** 入学後に学ぶインフルエンサーとして、SNSで情報発信やYouTubeチャンネルの運営など、活動していることもアピールする試験方法です。3D映像制作や写真、発信力も伸ばします。動画のテーマや内容は自由です。あなたの個性や実力を伸ばします。(課題提出タイプ)

▼2つの試験タイプ

プレゼンタイプ or **課題提出タイプ**

奨学金(10万円)を支給

▼総合型選抜試験1期 奨学金制度について

総合型選抜試験1期については、総合型選抜リスト登録者のうち、学費への強い意欲と明確な目標を持つ、学費の自己負担割合が10%以内の奨学金受給者に対し、入学後の自己負担を減らすための奨学金を支給します。

学校	コース	人数
地域みらい	専攻とソシオカルケア	16名以内
	情報デザイン/コミュニケーション	
こども未来	電算システム	16名以内
	こども未来	

▼奨学金制度対象の試験日程はこちら

期	エントリー	募集日	出願期間	合格発表	入学手続き日
I期	4/27(土)~8/16(日)	5/25(土) 7/27(土) 8/1(土) 8/22(土)	9/29(月)~9/13(金)	11/1日	11/15日

1. 出願資格

1. 次の条件のいずれかに該当し、本学により総合型選抜試験への出願を認められた者
 - (1) 2024年4月1日現在で高等学校2年生
 - (2) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
 - (3) 高等学校または中等教育学校を退学した者および2025年3月卒業見込みの者
 - (4) 学校教育法施行規則第155条の規定により、高等学校を卒業した者(専修科以上の学力がある者)と認められた者
 - (5) 2025年3月31日までにこれに該当する者となる見込みの者

2. 募集人員

こども未来	20名	地域みらい	6名
こども未来コース		専攻とソシオカルケア	
こども未来コース		情報文化	24名
こども未来コース		情報デザイン/コミュニケーション	
こども未来コース		デジタルビジネス	

3. 試験日程 (集約の方は、オンラインでの面談・プレゼンテーションも可能です)

期	エントリー	募集日	出願期間	合格発表	入学手続き日
I期	4/27(土)~8/16(日)	5/25(土) 7/27(土) 7/13(土) 8/22(土)	9/29(月)~9/13(金)	11/1日	11/15日
II期	8/19(日)~9/13(金)	9/7(日) 10/18(日)	9/30(月)~10/11(日)	11/1日	11/15日
III期	9/21(土)~10/11(日)	10/18(日) 11/15(日)	11/18(月)~11/29(日)	12/20日	12/16(日)

① **1. 出願資格**

② **2. 募集人員**

③ **3. 試験日程**

④ **4. 面談について**

⑤ **5. 出願方法**

⑥ **6. その他**

#総合型選抜 体験談

⑤ **5. 出願方法**

⑥ **6. その他**

《表 14》総合型選抜入学者数と変更点（見込数を含む）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
入学者数	6	18 →前年度の3倍の入学者 (12名増)となる	23～25名 →前年度のプラス5名 以上を見込む
エントリー	9/12～	6/11～	4/27～
選考方法	プレゼンテーション	[プレゼンテーション] ・推し活型 ・アオハルPR型	[プレゼンテーション] ・アオハルPR型 ・推し活型
		[課題提出] ・推し活型 ・アオハルPR型 ・インフルエンサー型	[課題提出] ・推し活型 ・アオハルPR型 ・インフルエンサー型
	面談	面談	面談 面談内容を具体的に明示した(不安の軽減) アドミッション・ポリシーの理解を問うことにした。
特典			I期出願者に奨学金 全学科対象 16名以内 選考により10万円の 奨学金を支給する。
その他			学力の三要素に関する 評価の視点と配点を明示して可視化(数値化) した(不安の軽減) →合計点100点満点

(v)年間学費の4分割制度

本学の学費については、他大学同様に前期と後期の2分割制度であった。経済的理由で期日までに納入出来ない場合は、個別に延納願いを提出させ、除籍の期日まで延納対応を行っていたが、経済的理由での退学は例年数名存在していた。入学者にとっても、高校時代の月払いから年間2回の2分割制度に変わり、前期に約70万円、後期に約50万円を納入することの負担は大きなものであると考えた。

個別に相談があった場合のみ延納対応をしていたが、相談出来なかった家庭も多いと仮定し"最初から制度化された分納(例えば4回)"が、受験生や保護者の心理的不安を払拭すると考え、[図3]「4分割制度」を令和7年度入学者から実施することにした。なお、4分割での納入を原則とするが、2分割、一括(全額)納入も可能とし、3パターンに対応出来ない場合も個別相談による延納は継続することとしている。この制度は、実際、受験を考えている保護者や進路指導室では概ね好評である

ことも判明し、今後、本学の「4分割制度」が浸透することで、5名程度は受験生が増えると考えている。なお、この「4分割制度」は、同時に経済的理由での在学生の退学者防止となる制度でもあり、収容定員の確保に繋がる制度だと確信している。

[図3]年間学費の4分割制度（2025年度募集要項 P.18）

2. 学 費													
1. 年間の学費（学年別）													
1年次 (B：2回) または (C：一括) の方が振込手数料が (A：4回) よりお得になります。													
学年	学科	納入期	学 費				諸 費			納入金額	納入期限		
			入学金	授業料	教育充実費	施設運営費	後援会費	委託徴収費	実習費		(A：4回)	(B：2回)	(C：一括)
1年次	全学科・コース		200,000							200,000	指定期日	指定期日	指定期日
		I期		155,000	45,000	30,000	15,000	47,000	P.18 参照	292,000	3月下旬	3月下旬	3月下旬
		II期		155,000	45,000	30,000				230,000	7月下旬		
		III期		155,000	45,000	30,000				230,000	9月下旬	9月下旬	
		IV期		155,000	45,000	30,000				230,000	12月下旬		
合計		200,000	620,000	180,000	120,000	15,000	47,000		1,182,000				

※「委託徴収費」については、初年次（1年次）のみ納入となります（2年次での納入はありません）。
 (内訳) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険（2年間分）、新入生研修費、学友会費、卒業関連費（卒業必修科目教材費を含む）、同窓会費
 ・「地域みらい学科 韓国文化コース」について、I期に「国際活動費」として30,000円を徴収します。
 ・「実習費」については、選択する免許資格に応じて別途必要です。また徴収時期・金額も異なります（詳細はP.18「2. 主な免許資格の実習費・申請手数料と徴収時期」を参照）。

2年次 (B：2回) または (C：一括) の方が振込手数料が (A：4回) よりお得になります。													
学年	学科	納入期	学 費				諸 費			納入金額	納入期限		
			授業料	教育充実費	施設運営費	後援会費	実習費	(A：4回)	(B：2回)		(C：一括)		
2年次	全学科・コース	I期	155,000	45,000	30,000	15,000			P.18 参照	245,000	3月下旬	3月下旬	3月下旬
		II期	155,000	45,000	30,000			230,000		7月下旬			
		III期	155,000	45,000	30,000			230,000		9月下旬	9月下旬		
		IV期	155,000	45,000	30,000			230,000		12月下旬			
		合計	620,000	180,000	120,000	15,000			935,000				

・「地域みらい学科 韓国文化コース」について、I期に「国際活動費」として30,000円を徴収します。
 ・「全学科・コース」について、I期に「アルバム代他」として25,000円を徴収します。
 ・「実習費」については、選択する免許資格に応じて別途必要です。また徴収時期・金額も異なります（詳細はP.18「2. 主な免許資格の実習費・申請手数料と徴収時期」を参照）。

① (B：2回) または (C：一括納入) を納付希望の方はご連絡ください。(別の納付書をお送りいたします)
 ② 高等教育の修学支援新制度対象の方は、前期授業料 (II期納入後) および後期授業料 (IV期納入後) に支援額を返金いたします。
 ③ 不慮の災害や家庭の都合等、または緊急的な経済的理由により、学費を納入期限内に納入することができない場合は事前に必ずご連絡ください。
 ④ 入学手続を完了した者が2025年3月28日(金)17:00までに、文書による入学辞退届 (横式自由) を提出した場合には、入学金以外の納入金 (手数料を除く) を返還します。ただし、特待生選抜合格者および学校推薦型選抜試験合格者が辞退する場合には、学校長の「入学辞退理由書」を添付してください。

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

入学定員の確保として、(i)高大連携(教育連携)、(ii)男女共学、(iii)外国人留学生、(iv)総合型選抜入試の変更、(v)年間学費の4分割制度の5点の学生募集の取組以外に、基本的活動である既存の学生募集(高校訪問、進学ガイダンス、教員説明会、オープンキャンパスなど)をさらに高める必要があると考え、特に、各高校の行事、進学指導の状況、生徒の動向に合致させたスケジュール表に基づいた高校訪問(資料省略)、[図4]細分化したオープンキャンパス、[図5]奨学金リーフレットの作成・配付などを今年度は徹底して実施している。特に高校訪問に関しては、高校の進学指導に合わせた活動を徹底したことである。また、マイナビのクラウド型学生募集システムである「アクセスオンライン」を令和5年度に導入したことで学生募集の管理が可視化され、各高校の進学状況の把握や志願者の行動分析が可能となり、学生募集の具体的な戦略が「地域みらい学科」「こども未来学科」の両学科共に立てやすくなり、入学の見込み数が概ね把握できるようになった。

また、令和6年度入試において、全国的に保育士養成系の短期大学が苦戦したが、本学の「こども未来学科」は全国的に珍しい「トリプルライセンスを2コース」を擁しており、保育士・幼稚園教諭+「小学校教諭」の「こども教育コース」、保育士・幼稚園教諭+「養護教諭」の「こども養護コース」の3免許資格の優位性を《表15》2つの教諭(小学校教諭・養護教諭)の養成課程の短期大学がない県にPRするべく、[図6]教員採用試験の現役合格率を記載したリーフレットを高校訪問に持参させ説明させることにした。さらに、進学ガイダンス、教員説明会等でも説明を繰り返し行ったことで、事実、今年度のオープンキャンパスは昨年比参加者増に繋がっている。

以上のことを積み上げ、《表16》令和7年度の入学者予測を170名と予想した次第である。

《表15》九州内の小学校教諭と養護教諭が取得できる短期大学

県名	小学校教諭2種	養護教諭2種
福岡県	A	B・C
佐賀県	佐賀女子短期大学	佐賀女子短期大学
長崎県		
熊本県		
大分県	D	
宮崎県		
鹿児島県	E	
沖縄県	F	
九州以外の都道府県		
九州合計	5校	3校
全国合計	18校	10校

《表 16》令和7年度 入学者予測

学科	コース	令和6年度				令和7年度(予想)				
		日本人		外国人		日本人		外国人		
		男	女	男	女	男	女	男	女	
地域みらい	福祉とソーシャルケア		6	2	30		8	8	30	
	韓国語文化コース		31				32			
	情報デザイン・コミュニケーション		1	4	4		3	6	6	
	司書アーカイブズ		7				10			
こども未来	こども教育コース		7			2	10			
	こども保育コース		21				23			
	こども養護コース		29				32			
合計			102	6	34	2	118	14	36	
			142				170			

[図4]オープンキャンパスリーフレット
(スケジュール)

OPEN CAMPUS 2024

Welcome to Sajo!
佐賀駅から無料送迎バスあり!!
参加者全員スタバカードGET
申込締切は前日17時まで

4/27 (土)	総合型選抜試験 徹底解説	来校型 10:30-12:30
5/25 (土)	学生寮見学ツアー	WEB型 14:00-15:45
6/8 (土)	総合型選抜試験 対策講座	来校型 10:30-12:30
7/6 (土)	学生寮見学ツアー 特待生選抜試験説明会	WEB型 10:30-11:45 来校型 14:00-15:30
7/20 (土)	サジョタンCafe	来校型 10:30-12:30
8/4 (日)	サジョタンの国祭り	来校型 13:00-15:00
8/24 (土)	そうだ、先輩に間こう。	来校型 10:30-12:30
9/21 (土)	サジョタン×海外体験	来校型 13:00-15:00
2/22 (土)	サジョタンケン♡	WEB型 10:30-12:30
3/22 (土)	卒業生門出特集	来校型 10:30-12:30

佐賀女子短期大学
nyushi@sashigaku.ac.jp
0952-37-7880 (直通)

[図5]奨学金制度リーフレット

令和7年度 佐賀女子短期大学は意欲ある学生を応援します!

支給型・学費免除型
入学前採用型
入学後選抜型

奨学金制度

佐賀女子短期大学では、成績優秀者に対する奨学金制度や、経済的事情により就学が困難な方を対象とした奨学金制度を設け、学生の『進学サポート』を行っています。

支給型奨学金 対象者 全学科 16名以内

総合型選抜 1期
10万円 支給!!
※10月1日(火)に
対象者へ通知します

総合型選抜試験1期(支給型奨学金)	
エントリー	2024年4月27日(土)～ 8月16日(金)
出願期間	2024年9月2日(月)～9月13日(金)
面談日	2024年5月25日・7月27日(土) 6月15日(土)・8月3日(土) 7月13日(土)・8月22日(木)
選考方法	アオハルPR型・推し型・インフルエンサー型

学費免除型奨学金 対象者 全学科 9名以内

特待生 選抜試験

特待生選抜試験(学費免除型奨学金)	
願書受付	2024年11月1日(金)～11月11日(月)
試験日	2024年11月16日(土)
選考方法	国語(古文・漢文を除く)・英語・個人面接
人数	A・B・C合わせて全学科対象9名以内(ただし、Aは3名以内)

※2年間で
A 144万円 免除!!
B 72万円 免除!!
C 36万円 免除!!

特待生A…全学免除(144万円)
特待生B…半額免除(72万円)
特待生C…25%免除(36万円)

1年次の学業・品行により2年次への特待生継続の審査が行われます。

入学前採用型奨学金 2名程度

佐々木修学支援奨学金

支援内容	月額2万円(返還不要)の奨学金
支援期間	原則として1年間

入学後採用型奨学金 5名程度

新井修学支援奨学金

支援内容	月額2万円(返還不要)の奨学金
支援期間	原則として1年間

[図6] 教員採用試験の現役合格者を記載したリールレット

令和6年度 8月7日 現在

教員採用試験合格速報

こども未来学科『こども教育コース』合格情報!

合格

小学校教諭

現役合格

1次合格 **13名!!**

福岡県・佐賀県・長崎県・東京都
小学校教諭 受験者全員1次合格!

佐賀県 現役

7名 合格 小学校7名受験

現役合格率 **93%**

長崎県 現役

2名 合格 小学校2名受験

福岡県 現役

2名 合格 小学校2名受験

東京都 現役

1名 合格 小学校1名受験

福岡市 現役

1名 合格 小学校2名受験

最終合格まで ご期待ください!!

学校法人 旭学園
佐賀女子短期大学

祝 令和6年度 教員採用試験

最終合格情報!

公立『小学校教諭』採用試験

現役

現役 最終合格率 **84.6%**
(1次試験合格率 92.3%)

11名最終合格しました!!

佐賀県

6名 合格

佐賀女子高校卒 佐賀商業高校卒

福岡県

2名 合格

大牟田北高校卒 2名

東京都

1名 合格

武雄高校卒

長崎県

2名 合格

小城高校卒 2名

プラス

公立保育園

2名 合格

佐賀清和高校卒

伊万里高校卒 明光学園高校卒 諫早農業高校卒 岩城高校卒

みんな、子どもたちから慕われる先生になってください。

学校法人 旭学園
佐賀女子短期大学

7月26日 現在

令和7年度 教員採用試験

1次合格 速報!

こども未来学科『こども教育コース』

小学校教諭

福岡県・佐賀県・長崎県

合格

現役合格

1次合格 **9名!!**

現役合格率 **90%**

福岡県 現役

3名 合格 小学校3名受験

佐賀県 現役

4名 合格 小学校5名受験

長崎県 現役

2名 合格 小学校2名受験

最終合格まで ご期待ください!!

学校法人 旭学園
佐賀女子短期大学

7月26日 現在

令和7年度 教員採用試験

1次合格 速報!

こども未来学科『こども養護コース』

養護教諭

政令指定都市「横浜市」

現役合格 1次試験

最終合格まで ご期待ください!!

最終倍率 11.5倍

1次合格者 **80名**
↓
最終合格 **約20名**

学校法人 旭学園
佐賀女子短期大学

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	イムラ マサル 今村 正治 <令和4年4月>	66 (高)	文学士	532	佐賀女子短期大学学長 (令和4年4月～令和8年3月)